



日光の女峰山の南西にある雲竜溪谷である。東照宮からタクシーでしばらく入って、これより車両進入禁止の鎖位置から車道を2時間余り歩く。車道とはいえこの時期には冠雪しているので歩かねばならない。しかしここ数年の雲竜溪谷はすごい人気で、タクシーの運転ちゃんの話では休日には1,000人を超える人が来るといふことで、トレースもしっかりできていて車道の間はアイゼンも要らない。

ツアーリーダーは増田さんと庵原さんのベテランコンビ。男8人くらいと女8人くらいの珍しく釣り合いのとれたメンバー構成だ。靴マーク2と易しいコースであるので、いつもよりトロイ感じの人が多く、特に男のメンバーに感じる。元国鉄運転手のSノさんと私がベテラン顔してられる。





山にたくさん登っていれば滝はよく見かけるものであるし、凍った滝も珍しくはない。しかしこれだけの規模は初めてだ。40年くらい前は奥多摩の百尋の滝も結構見事なものであったがこれほどではないし、今は凍ることもない。袋田の滝も氷結で有名であったが、最近は聞かない。地球温暖化というやつか。この日は暖かかったので尖った氷がドサッと落ちてきたりした。やはりヘルメットがあったほうが良い。

去年は、毎日新聞旅行のツアーで雲竜溪谷は3回くらいあったと思う。前年の11月くらいに申し込もうと思ったらすべて満席であった。今年は2回のツアーが満席ではないみたいだ。“あんなのたいしたことないよ”とでもいう噂でも立ったのかな。でも一度くらい見ておいたっていいよ。



雲竜溪谷だけだと、日にちの使い方が半端であるので、初日は多気山という377mの山に登った。登り30分もかからなかった。それでも時間が余るので、大谷石の採掘場の見学に観音様の見学とロマンチック村と称する道の駅などにも寄った。

